

【第2次佐用町男女共同参画推進計画の主な変更点について】

1. 基本理念について（12 ページ）

第1次計画（平成29年度～平成33年度・令和3年度）では、『～お互いの「ありがとう」から広がるこころの和～ 老若男女(だれも)が認めあい活躍するまち佐用』を基本理念として計画を推進してきました。

第2次計画では、これまでの理念を継承し、価値観も考え方も多様化している現代において、お互いに感謝の気持ちを持ちながら、認め合い、自分らしくいきいきと暮らしていける社会になるよう基本理念を次のとおりとします。

**だれもが認め合い 互いに感謝し
自分らしくいきいきと暮らせるまち 佐用**

2. 佐用町の人口減少及び少子高齢化の現状について（2 ページ～4 ページ）

だれもがいきいきと活躍するまちを目指すには、老若男女すべての人がそれぞれの場所で、それぞれの立場で活躍できることが重要となります。人口減少とともに少子高齢化となっている現状を把握する為に、人口推移を掲載しました。

3. 持続可能な開発目標（SDGs）の視点

SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）とは、2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した、「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。

目標の達成に向けてのすべての人の行動が重要となります。本計画においてもSDGsの視点を踏まえた計画の推進をめざし、関連する項目と対応させています。

4. 男女共同参画による防災への取り組み（32、33 ページ）

毎年行っている男女共同参画の進捗状況の確認により、男女共同参画による防災への取り組みがまだ十分ではなかったため、人権講演会と生涯学習・スポーツ部会の研修会を兼ねて、「佐用町人権研修―老若男女みんなで考える地域の防災・減災」講演会を開催し、そこで出された意見を第2次計画へ反映しました。

5. まちづくり推進会議ワークショップ等の意見の反映（34 ページ～）

第3回部会（ワークショップ）で、皆さんからいただいたたくさんのご意見等を計画に反映させました。各班のご意見等を34ページ以降に掲載し、それぞれのご意見が施策のどの部分に対応するかもあわせて記載しています。